

### 学校給食

#### ホーユー破産、学校給食は直営で

県立高校の寮生350人の食事を提供していた(株)ホーユーが破産した問題で、藤井議員は「破産の原因は急激な物価高だろうが、そもそも、同社は低入札で契約に無理があったのではないかと指摘。給食が止まるという最悪の事態だ。この際、県または学校が直接、調理員や栄養士を雇用し直営に切り替え、食材はでき

るだけ現地調達することを検討して欲しい」と要望。担当課長は「今後は地元食材を活用するように仕様を変えました」と答えました。



文教委委員9月14日・27日  
県に検証求める意見相次ぐ  
▼「ホーユー」と各校が契約した経緯  
▼食材費高騰に対する行政の補助額が妥当か  
質問する藤井議員

### 教員不足

#### 長時間労働の改善を 中学35人学級は追加10億円で実現

藤井議員は、「今欲しいものは睡眠時間」と遺書を残して自殺した新任教師の赤旗しんぶん記事や、教員未配置の全国状況(全教調査、5月1日)を示しながら、「先生のブラック労働、長時間労働の根底に、教員不足の問題がある。本来、4月に必要な定数には正規の先生を配置すべきだ」と要求しました。

同時に、教員の多忙化解消のためには少人数学級に踏み出すべきと求め、中学全年で35人学級にするための予算額を質問。担当課長は「追加で10億円程度必要」と回答。藤井議員は「叡智学園の建設費に69億円かけている。少人数学級こそやるべきだ」と訴えました。

文教委委員9月27日

### 県営住宅

#### えっ！5000戸も減らすの！

河村議員は、一部建て替えをしながら、2060年には供給戸数を約5千戸も減らす「県営住宅再編5箇年計画」の見直しを求めました。貸家世帯数に対する公営住宅

の割合は、全国平均11・8%に対し、広島県は9・4%です。河村議員は「今でも少ない公営・県営住宅を減らすのはとんでもない。増設すべきだ」と要求しました。

建設委員会8月18日

### 県道

#### 草刈りを年2回以上に増やして

県は現在、県管理の道路の樹木伐採、草刈りを原則年1回、約12億円の予算で実施しています。河村議員は「道路脇から伸びた草が目

当たる」などのシニアカー利用者からの声を紹介し、「伐採回数をせめて年2回に。2回でも一般会計予算の0・2%にすぎない」と、予算の拡充を求めました。

建設委員会9月14日

### 河川

#### 堆積土砂の撤去・中州の樹木伐採を急げ

県は「河川内の堆積土砂等除去計画2021」に基づき、年16〜18億円の予算で堆積土砂を撤去しており、今年3月末の着手率は42%です。予算を増やし浚渫

と樹木伐採を急ぐことを要求しました。未着手の福山市神辺町の深川は、地域住民が浚渫しており、県の費用負担を求めました。

建設委員会9月14日

## 来年度予算要望提出 (89項目)

市町議員とともに住民の声を届ける

日本共産党県議団は県内の市町議員とともに10月12日、県に対して来年度の予算要望を行いました(写真)。国保料(税)引き下げ、鳥獣被害対策など89項目を事前に提出。この日はその内23の重点項目について要望し現状を聞きました。



## 命の水を守れ!

三原市本郷町産廃処分場

### 裁判報告集会后 現地調査

藤井、河村両県議は8月20日、三原市本郷町の産廃処分場裁判の報告集会后、処分場周辺の現地調査(写真)。

藤井議員は「処分場の下流にたくさんの水田があり、上流に産廃処分場をつくること自体が非常識だ」と話しています。



## 上安産廃処分場 盛り土調査 住民説明会が実現!

上安産廃処分場の敷地を含む大規模盛り土の調査にあたり、住民への説明会が9月17日、安佐南区の安公民館で開かれ68人が参加、藤井議員も同席しました(写真)。

住民からは「雨や地震にどこまで耐えられるのか」など質問が次つぎ出されました。



## 県病院残して

### 入院できる医療体制の存続を

県議団、中原洋美広島市議、住みよい南区をつくる会は10月11日、「現在の県病院(広島市南区)を残し、入院できる医療体制の存続」を求めて申し入れました。



## 県立高校統廃合 — 住民の声で基準改善!

広島県立高校の統廃合基準が、現在の「全校生徒が2年連続で80人未満」から、「2年連続で新入生が20人未満か全校生徒が60人未満」に緩和される案が、10月19日文教委委員会で決められました。「地元の高校を存続させよう」と地域や関係者が様々な取り組みをされたことが大きな世論となり、行政を動かしました。

### 西条紫水・湯来南高校を訪問

藤井議員は、文教委委員会で何度もこの問題を取り上げ「子どもが安心して地元の高校に通えるよう統廃合は中止すべき」と要望。地元の日本共産党市議とともに統廃合の対象となっている西城紫水高校、湯来南高校を訪問し、校長先生からの要望も委員会で伝えてきました。



西城紫水高校の校長先生と懇談=8月22日

### 人数で切り捨てるやり方はやめよ

現在の統廃合対象校の生徒数は、湯来南高校46人・上下高校52人・西城紫水高校60人です。

藤井議員は「80人から60人に緩和されたことは評価できるが、厳しい基準でもある。数字の基準で切り捨てるやり方をやめ、子どもや地域が望む限り存続させるべき」と話しています。

### 高校統廃合中止を求める 要望書提出



統廃合対象校の地元市議と一緒に要望書を提出=8月17日県議会



学校は地域の宝 藤井とし子

県議になって、初めて取り組んだ県立高校の統廃合問題、「中山間地の小規模県立高校をなくさないでほしい」この声を議会でも取り上げ続け、地域の運動もあって、3校の来年度の募集停止をやめさせることができました。しかし、県は来年度以降、これまでの募集停止の基準を2年連続全校80人未満から60人未満に、若しくは2年連続新入生20人未満に変えようとしています。

まだまだ、この議論は続きます。「学校は地域の宝」、どこに住んでも高校教育を受けられるようにするのが教育行政の役割です。これからは県民の声を届けるために頑張ります。



初討論をしました

河村ひろ子  
県議になり2  
回目の議会に挑  
みました。

今回は病院統廃合に係る予算や広島高速5号線の計画変更など黙過できない議案が提案されていきました。命綱である地域の病院を減らすことや、予算が膨らみ続ける公共事業は認められません。「日本共産党の見解をきちんと示したい」と、積極的に主張し、討論が実現しました。

本会議場での初登壇は、緊張で口はカラカラになりましたが、住民のみなさんの声を議場で伝えられて良かったです。引き続き、県民の願い実現へ頑張ります。



9月定例会最終日の10月2日、河村議員が一般会計補正予算案などの反対討論にたち、「新病院建設、広島高速5号線関連の増額」などを批判しました。4月の統一地方選挙で日本共産党は2議席に躍進し、「少数会派にも討論を」と強く求め実現したものです。

## 2議席になり本会議で討論実現

県民の立場から 県政の問題点ただす

9月議会

### 広島駅北側に4病院統廃合で新病院建設

## 235の病床削減は感染症対策に逆行

県は2030年までに県立広島病院など4病院を統廃合し、広島駅北側に建設する千床規模の「新病院建設基本計画」を9月に公表しました。

高度医療の拠点化、若手医師の人材育成などを掲げていますが、235病床も削減するものです。

新型コロナウイルス感染症拡大によって多くの病院がひっ迫し、入院も治療もできない事態になったにも関わらず、病床を減らすことは、今後の感染症対策にも逆行します。

### 県病院移転で通院困難に

地域の病院がなくなれば通院が困難になります。特に、島しょ部から県病院への通

### 跡地利用は方向性のみ

「住民合意と県病院の医療機能を残すことを求める」議会請願が、6月議会では継続審議に。しかし、9月議会でも否決されてしまいました。

県病院の跡地活用は「医療、介護、福祉サービスを受けることができる体制を整える」との方向性が示されただけ。請願を採択し、十分議論すべきです。

### 広島高速5号線 30億円も増額！

## 防災優先の公共事業に改めよ

度重なる工期延長と事業費増額

739億円から1501億円に

二葉山トンネル

高速5号線・二葉山トンネルは1999年の都市計画決定時には2012年の完成予定でした。

しかし、様々な理由で工期が遅れ、現在でもシールドマシンやカッターの故障、ナットやボルトが外れるなど異常事態が相次ぎ、完成のメドがたちません。

### 費用対効果 1.02に低下

増え続ける事業費も大問題です。2019年にシールド工法には不可欠のトンネル内壁費用追加や、高速2号線への連結で310億円増額しており、今回さらに30億円増額。事業費変更は6回目に

今回の計画変更で費用対効果は1.10から1.02へ低下。国の建設工事紛争審査会の調停の結果次第では、さらに事業費が増額され、費用対効果1を切ることは明らかです。

### 土砂災害対策優先に転換を

二葉山トンネル真上付近の住宅では外壁亀裂や騒音被害があり、住民への安全配慮に欠けています。ゼネコン・事業者言いなりに費用が膨らむ事業は認められません。

このような予算の使い方はやめ、防災施策を優先し、全国一多い土砂災害危険箇所への対策をすべきです。



工事の被害状況の調査=9月14日、広島市東区牛田東3丁目

2023年9月議会 主な議案審査結果	自民議連 (33人)	民主 県政会 (14人)	公明党 (6人)	広志会 (4人)	日本 共産党 (2人)	自民会 (1人)	ひとわ (1人)	ひろしま 刷新 (1人)	義友会 (1人)
令和5年度広島県病院事業会計補正予算	○	○	○	×	×	×	○	○	○
広島県教育委員会委員の任命の同意について	○	○	○	○	×	○	○	○	○
指定都市高速道路の整備計画の変更の同意について	○	○	○	○	×	○	○	○	○
県立びんご運動公園の球技場利用料引上げ	○	○	○	○	×	○	○	○	○
県病院移転計画に関する請願	×	×	×	×	○	×	×	×	×
「健康保険証の継続を求める」意見書採択を求める請願	×	×	×	×	○	×	×	×	×

**日本共産党** 藤井とし子  
河村ひろ子

**県議団ニュース**

2023年10月30日 No. 2

発行 日本共産党広島県議団  
県庁・議会控室 TEL 082(513)4667  
FAX 082(223)2034  
ホームページ <http://kyodo-support.com/tuji/>  
E-mail: [h-kawanura@gikai.pref.hiroshima.jp](mailto:h-kawanura@gikai.pref.hiroshima.jp)

県政についてのご意見・ご要望・  
お困りごとなどお寄せ下さい